

# 労災防止の徹底誓う

## 吉光組が安全大会開く

吉光組(小松市、吉光岳文代表取締役社長)の21年度安全大会は26日、同市長崎町のルートイングランティア小松エアポルトで開催され、社員と協力企業で構成する吉翔会の関係者らが労働災害防止の徹底を誓った。新型コロナウイルス対策として会場は少人数とし、リモート形式で開かれた。全体で約100人が参加した。

席上、吉光社長はウィズコロナ時代における働き方改革を推進していく姿勢を強調。その上で「人手不足や作業員の高齢化が進んでいる。コロナ対策を講じながら、安全で働きがいのある環境をつくるために力を合わせて取り組んでいく」とあいさつした。

「あいさつや声かけを心がけ、慢心せずに未来に安全をつなげていこう」と呼びかけた。

引き続き、現場での優れた安全管理をたたえ、

## 60人が献血奉仕

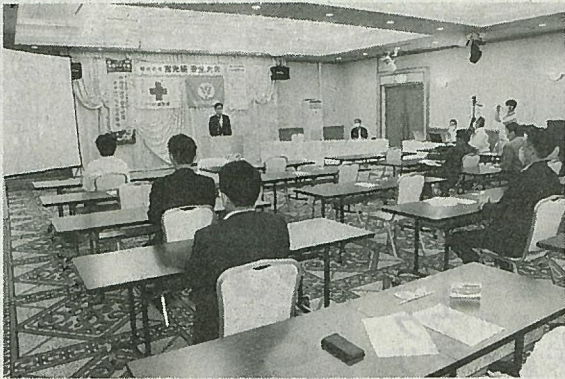
### 吉翔会など社会貢献

吉翔会会長で三創建設の川口智長代表取締役も

吉光組は、ルートイングランティア小松エアポルト前で献血ボランティア活動を実施した。同社や協力企業の社員ら約60人が血液不足の解消に協力しようと、社会貢献に取り組んだ。

献血協力者は、タッチパネルで問診に答え、血圧測定などの検診を受けた後、臍赤十字血液センターの献血バスに乗り込み、400ミリの採血を行った。

同社では安全大会の開催に合わせ毎年、献血活動を実施している。



リモート形式で開かれた吉光組の安全大会①と吉翔会らによる献血奉仕